

校訓 自律 ・ 敬愛 ・ 進取	私たちの信条（モットー） ルールを守り 励まし合い 無限の道を歩もう
---------------------------	---------------------------------------

生徒の実態
<ul style="list-style-type: none"> ・明るく素直な生徒が多く、生徒会活動や学校行事等に意欲的である。 ・規範意識が高く、規律ある学校生活を築こうとする気風がある。 ・授業には真剣かつ真面目な態度で臨み、学習活動に積極的に取り組んでいる。一方で、逃避傾向の強い生徒も見受けられる ・高い目標を持ち学習内容を習得するための主体性や粘り強さには向上の余地がある。 ・成長期に必要な基本的な生活習慣や、円滑な人間関係づくりに必要な対話の力には向上の余地がある。

学校教育目標 命 夢 絆

努力目標（めざす生徒像）
<ul style="list-style-type: none"> ○愛情と信頼に満ちた関わりの中で、命を大切にする生徒 ○たくましい心と体で、夢に向かって学び、挑戦する生徒 ○自発的・自治的な活動をとおして、絆を深め合う生徒

保護者・地域の願い
<ul style="list-style-type: none"> ・確かな学力の定着を目指し、分かる授業の実践に努めてほしい。 ・子ども一人一人を深く理解し、たくましく成長できるように指導、支援してほしい。 ・特別な教育的支援を必要とする生徒に対して適切な指導をしてほしい。 ・規範意識を醸成し、いじめの未然防止、早期発見や早期対応などで、安全で安心した学校生活を過ごして欲しい。

各分掌でめざす生徒像			
学習指導部	特別活動指導部	生徒指導部	健康安全指導部
<ul style="list-style-type: none"> ・解決までの見通しをもって粘り強く課題に取り組むことができる生徒 ・自分の考えを様々な方法で表現することができる生徒 ・進んで家庭学習に取り組むことができる生徒 	<ul style="list-style-type: none"> ・違いを認め合い、みんなと共に生きていく生徒 ・よりよい集団や学校をつくらうとする生徒 ・なりたい自分にむけて、頑張る生徒 	<ul style="list-style-type: none"> ・時と場合に応じた挨拶をすることができる生徒 ・まきりを守る意識をもって生活できる生徒 ・他者を思い、自分を大切にする生徒 	<ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活習慣に気を付けて、健康管理ができる生徒 ・丁寧な黙働活動を行うことができる生徒 ・安全に気を付けて、けがや事故のない学校生活を送ることができる生徒

重点1 確かな学力の向上	重点2 多様な包摂性のある教育活動の推進	重点3 新時代の特別支援教育の推進	重点4 夢と志をもち挑戦する生徒の育成
<ul style="list-style-type: none"> ◎授業規律の定着と基礎的・基本的な学習内容の定着 <ul style="list-style-type: none"> ・二学期制によるきめ細かな指導 ・学習習慣の確立(小・中連携) ・学習アンケートによる実態把握と個別指導 ・学習履歴(AIドリル)を活用した自主的な学習習慣の確立 ◎学習指導の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・見直しをもてる学習課題の設定 ・思考を促すための発問の工夫 ・生徒同士が対話しながら考えを深める場の設定 ・賞賛の場の設定 ・指導と評価の一体化の推進(評価の妥当性と信頼性の向上) ・ICTやデジタル教材を活用した授業の研究 ・プロジェクトチームによる校内研修の活性化 ・メンター研修の導入 ◎他領域・体験活動との関連を図った道徳教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・授業後の自己評価の実施 ・学校行事との関連の明確化 ・全学年共通題材による授業実施 ・全校総合学習の時間テーマ～夢を叶える～との関連を図った指導の充実 ◎読書活動の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・図書整理と活用 	<ul style="list-style-type: none"> ◎不登校対応 <ul style="list-style-type: none"> ・不登校対策ケース会議(適宜) ・個別のプログラムの活用 ・校内教育支援センター(らしっく)の開設と活用 ◎いじめ対応 <ul style="list-style-type: none"> ・悩みアンケートの定期的な実施と追跡調査 ・いじめ防止対策委員会(週1回) ・いじめ対応マニュアルの活用 ◎教育相談の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・学期ごとの二者面談の実施 ・教育相談機関の周知 ・SC、関係機関との連携を図ったカウンセリング機能の充実 ◎家庭や地域との連携を図った指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校と継続した連携(学習指導、特別活動、生徒指導、学校行事等) ・基本的な生活習慣の確立に向けた家庭との連携 ◎校内外の安全指導や環境美化の徹底 <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練やグリーン作戦の工夫 ・定期的な安全点検の実施 ・清掃活動における黙働の徹底 ◎健康管理に努める態度の育成 <ul style="list-style-type: none"> ・食育、歯科衛生教育の推進 ・睡眠や生活リズムの管理 	<ul style="list-style-type: none"> ◎特別支援コーディネーターを中心とした校内支援体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・個別的教育支援計画及び個別の指導計画の活用 ・個に応じた学習指導法及び環境整備 ・多様な生徒のニーズに応じた個別最適な学びの工夫(授業と学びのユニバーサルデザイン) ・通常学級に在籍する特別な支援を要する生徒への支援体制づくり ・全ての教員が特別支援教育に関わる校内体制の構築 ◎一人一人の教育的ニーズに即した学習機会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・校内教育支援センター(らしっく)の開設と活用 ・学習履歴(AIドリル)を活用した学習への取組 ・chromebookを活用した遠隔学習や面談 ◎交流及び共同学習の効果的な実施 <ul style="list-style-type: none"> ・学級活動、総合的な学習の時間及び学校行事等での交流及び共同学習を通じた他者を理解し、尊重する態度の育成 ◎様々な障がいに対する理解 <ul style="list-style-type: none"> ・効果的な居住他校交流 ・手話講座や障がいを理解する講演の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◎自発的・自治的な学級、学校づくりに主体的に参加しようとする意識の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・係、委員会 JUMP チーム活動への積極的な参加 ・中央委員会での議事内容を浸透させる工夫(生徒会と学級の連携) ・ガイダンス機能の充実(モットー集会、各行事ガイダンス) ・話し合い活動の充実 ◎他者と協働する集団活動の醸成 <ul style="list-style-type: none"> ・部活動への積極的な参加 ・各行事での目標の持たせ方と振り返りによる自己の成長の確認 ◎キャリア教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・職場訪問、職業体験の充実 ・SDGsと実生活を関連付けたプロジェクト学習 ・一人一人のキャリア形成と自己実現 ◎ボランティアの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・自らの意思で参加するボランティア ・地域活動のボランティアに取組める体制づくり ◎効果的な情報発信の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ・学校だより、マチコミによる発信 ・保護者、地域への授業公開週間の設定 ◎合同部活動方式の模索 <ul style="list-style-type: none"> ・近隣中学校や保護者・地域の理解と協力を得ながら、持続可能な部活動の実現

目指す学校像・教師像	
めざす学校像	めざす教師像
<ul style="list-style-type: none"> ①命を大切にする心を育む学校 ②夢(希望)や志の実現への力を育む学校 ③生徒・教職員・保護者・地域社会(住民)が信頼の絆「愛校心」で結ばれ、「社会に開かれた教育課程」を意識した学校 	<ul style="list-style-type: none"> ①校訓、教育目標、努力目標、「甲田魂」「愛校心」を意識し、学校運営に高い参画意識をもち正しく実践する教職員 ②同僚との和を大切にした教育活動を展開する教職員 ③成果や課題を常に明確にしながらか教育活動を展開する教職員 ④研修に励み、自らの資質を高めている教職員

いじめ防止対策
<ul style="list-style-type: none"> ・「いじめは、どの学校・どの学級でも起こりうるものであり、全く無関係ですむ生徒はいない。」という基本認識にたち、「いじめは許さない」という姿勢で、些細な生徒の変化を見逃さないよう努める。 ・教師と生徒の信頼関係の構築に努め、安心して相談できる環境の整備に努める。 ・学校教育全般を通し、自己有用感、存在感をもち、生徒が自信をもって生活できるように指導、支援に努める。